

留学先大学： グラーツ大学
 留学先での所属学部・研究科： Germanistik
 留学先での在籍身分： 学部生
 留学期間： 2015 年 10 月～ 2016 年 7 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 文学部ドイツ文学専修
 学年（出発時）： 3
 本報告書記入日： 2015 年 12 月 15 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

神戸大学の交換留学ホームページ、留学中(後)の先輩、学部の先生から。

住居について

- ・住居のタイプ： 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____
 住居（寮，アパート）の名前： WIST
- ・部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） 4人で一つのフラットを使用。キッチン：
- ・ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国： _____） その他（具体的に） _____
- ・どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） _____
- ・大学までの通学時間・手段： _____ 徒歩30分，
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

スーパーが隣にあり、便利。トラムの停留所も近い。静かで夜は人通りが少ないが、治安は良い。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

基本的には自炊。昼はサンドイッチを買うことが多い。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

渡航前に大学から提示された条件から選んだ。トラブルはなかった。希望が通るのは先着順らしいので、早めに申し込むのが良いのではないか。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期： 出発前 到着後
- ・履修登録の方法： On-line International Office等の仲介 その他（具体的に） _____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Einführung in die neuere deutsche Literaturwissenschaft	Vellusig R	1	3	446	授業後に内容がmoodleにアップされる。予習 はしにくい。筆記の期末テスト。
2	Literaturwissensch aftliche Textanalyse	Kernmayer H	1	3	240	ハンドアウトは授業前に、授業で使用するパワーポイントは 授業後にmoodleに上がる。予習はしにくい。期末テストはパ ソコンで受ける。
3	Deutsch Mittelstufe 2, Neveau B1/2. Phase	Turba H	1	3	19	毎週の宿題(作文)、出席、期末テスト(筆記と 会話)で成績評価。
4	Deutsch Sprachkompetenz 1, Neveau ab B1	Fasshold G	1	3	19	聞き取りテスト、発表、出席、宿題(作文)、期 末テスト(筆記と会話)で成績評価。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業は学部関係なく自由にとれる。学期が始まる前に、留学生向けに、どのような授業があるのかについてのオリエンテーションがあった。講義は大教室が多いが、演習は少人数。成績評価に出席を加味する場合は、3回以上欠席でアウトのことが多い。それぞれの講義にはチュートリアルという時間が授業とは別に設けられている。出席は自由だが、学部上回生が授業内容を詳しく説明したり、学生同士で質問・議論をしたりする、授業の内容理解を深める場。
語学の授業を受けるには、一つあたり60ユーロ払わなければならない。
現地学生は、居眠りこそしないが、その分途中退席したり、欠席したり、携帯をかまったりと、授業への熱心さは日本と同様人それぞれに思える。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00	授業		タンデム	授業	(チュート リアルム)	タンデム	
11:00							
12:00							
13:00		授業		タンデム	タンデム	タンデム	
14:00							
15:00							
16:00	授業						
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

冬学期も残すところあと一か月となり、留学期間も折り返し地点を迎えようとしています。振り返ってみると、「やっぱり苦しかったな」という思いが一番ですが、グラーツの街のことは好きになる一方です。街の印象と普段の生活について、簡単にまとめてみようと思います。

これまで国内外に何回か旅行しましたが、グラーツに帰ってくるたびに「なんて良いところなんだろう」としみじみ思います。街の雰囲気そのものが何よりも私にはとても心地よく、特に、時間の流れ方が日本とは全く違います。コンビニがなかったり、日曜日にはほとんどのお店が閉まっていたり、日本の生活に慣れていると不便に感じることもあるかもしれませんが、そのおかげもあってゆったりと穏やかな時間が流れています。治安も良く、人も優しく、落ち着いた、大きすぎず小さすぎないちょうど良いサイズの街…と言葉にすると伝えにくいのですが、住むのには本当に居心地の良いところです。褒めてばかりですが、正直なところ、不満はありません。また、クリスマスシーズンは本当に綺麗です。クリスマスのひと月ほど前からイルミネーションやマーケットが始まり、冬の寒い時期ですが暖かい雰囲気に包まれます。街中がクリスマスをわくわくしながら待ち望んでいる、とても幸せな時間でした。

この街で生活できるのは本当に幸せですが、同時に辛いものでもあります。意思の疎通が思うようにできないことがどれだけストレスになるか、正直甘く見ていました。大学の講義が理解できないこと、友人の話が聞き取れず会話が楽しめないこと、自分のドイツ語が通じないこと、挙げたらきりがありませんが、自分のできなさにただただ落ち込みます。今は、とにかく耐えて勉強し続けるしかないな、と思っています。励ましてくれる友人、家族には感謝、感謝です。とはいえ、基本的な生活は概ね楽しんでます。パンや乳製品は安くておいしいですし、市場に地元産の野菜を買いに行くのも楽しいです。寮のキッチン設備は充実しており自炊しやすく、寮の周りは静かで住環境は整っています。また、大学には日本語のコースがあるので、タンデムパートナーもすぐに見つけることができたし、現地学生と知り合う機会を作れるのも嬉しいところです。

グラーツに来て良かった、と心から思っています。今後もこの環境に感謝しつつ、頑張っていこうと思います。